

1741年4月アイルランドのダブリンで初演、1743年にロンドン初演。

台本はヘンデルの友人チャールズ・ジェネズ。第1部「予言と降誕」、第2部「受難と贖罪」、第3部「復活と永遠の生命」

## 1 歌の練習

本日歌っていただきたいのは

第12番「我らのために一人の嬰児が生まれた」(第1部)

第42番「ハレルヤコーラス」(第2部)

(混声4部合唱曲であり、各パートが歌う言葉が入り組んでいますが、全体の流れをざっと歌ってみる、ということにします)

演奏: クレンペラー指揮フィルハーモニア管弦楽団、合唱団

## 2 メサイアの抜粋(合唱曲中心)を聴きます

第12番「我らのために一人の嬰児が生まれた」(4:53)

第15番「栄光がいと高きところでは」(2:12)

第20番「見よ、神の子羊」(2:47)

第24番「我らはみな羊のように」(3:39)

第42番「ハレルヤ」(4:05)

第53番、第54番「子羊こそはふさわしい」、「アーメン」(6:40)

演奏: アーノンクール指揮ウィーン・コンツェントス・ムジクス、アルノルト・シェーンバルク合唱団



## 12番 Chorus

For unto us a Child is born,

Unto us a Son is given:

And the government shall

be upon his shoulder:

And His name shall be called

Wonderful,

Counsellor,

The Mighty God,

The Everlasting Father,

The Prince of Peace.

我らのために一人の嬰児が生まれた、

一人の男の子が我らに与えられた:

統治権はその肩にある:

そして彼の名はこう呼ばれる、

「不思議!

弁護者!

強大な神!

永遠の父!

平和の君!」

15 番

Glory to God in the highest,  
And peace on earth,  
good will towards men.

栄光がいと高きところでは神に、  
そして地には平安が、  
(神の)意にかなった人々に対して。

20 番

Behold the Lamb of God,  
that taketh away the sin of the world.

見よ、神の小羊、  
世の罪を除く方。

24 番

All we like sheep have gone astray;  
We have turned every one to his own way;  
And the Lord hath laid on Him  
the iniquity of us all.

我らは皆みな羊のように迷い出た;  
我らは各々の道に曲がっていった;  
そして主は彼の上に置かれた  
我らすべての罪責を。

42 番

HALLELUJAH ! :  
For the Lord God Omnipotent reigneth.  
The kingdom of this world is become  
the kingdom of our Lord and of His Christ;  
And He shall reign for ever and ever.  
King of Kings, and Lord of Lords.

ハレルヤ !  
全能の神が統治される。  
この世の王国はなった、  
われらの主とそのキリストの王国に。  
そして彼が永遠の永遠まで統治する。  
王の王、主の主よ。

53番,54番

Worthy is the Lamb that was slain,  
and hath redeemed us to God by His blood  
to receive power, and riches, and wisdom,  
and strength, and honour, and glory, and blessing.  
Blessing and honour, glory and power,  
Be unto Him that sitteth upon the throne,  
and unto the Lamb for ever and ever.

殺害された子羊にこそふさわしい、  
その血をもって神に我らを贖った方、  
力、富、智恵、強さ、誉れ、栄光  
そして讃美をうけることが。  
讃美と栄誉と栄光と権力とが  
玉座に座しておられる神にあれ、  
そして子羊に、永遠より永遠に。

Amen.

アーメン